

図書館と中小出版流通（小出版社の立場から）
大塚 栄一（株式会社 樹村房）

1. はじめに

- ・私の仕事歴—自己紹介に代えて
- ・出版を語る人の立ち位置，切り口，人間像
- ・情報の信頼性とは
- ・社会環境の変化と世代交代

2. 出版の本来の意味と小（規模）出版社のとらえ方

- ・出版業とは
- ・小規模出版社とは—実態と可能性

3. 出版流通の基礎知識

- ・各種最新データから見る出版流通の現在
- ・流通のしくみ
- ・取次について
- ・書店について
- ・Web（オンライン）書店について
- ・直販について
- ・流通の歴史を簡単に振り返る
- ・雑誌と書籍について
- ・流通にかかわる制度と諸問題
- ・amazon とどう付き合っていくか

4. 出版社はどのようなしくみで成り立っているのか

- ・さまざまな経営者像
- ・多様な形態とさまざまなビジネスモデル
- ・本づくりのプロセスと関連業種—企画，編集，製作等
- ・営業と商品管理—販売活動
- ・取次との取り引き条件—小社の事例から
- ・印税の話
- ・大学向けテキスト（採用物）について
- ・専門書，学術書について
- ・単著と共著の編集について—一本を仕立てる
- ・自費出版について
- ・電子書籍について

5. 出版に関する常識の問い直し

- ・勘違いや誤解等が多い業界用語
- ・取次との契約—小社創業時の資料から
- ・良書とは、質を担保するとは
- ・本好きとはどのような人のことか
- ・20 年来の言葉「出版不況」
- ・さまざまな編集者像
- ・本の価格と部数—初版、重版、それらの利益率等
- ・著者と出版社（編集者）の関係性
- ・事業承継について—多くが同族経営

6. 図書館と出版を語る際の視座

- ・それぞれの本質論
- ・現場で働く人の人間像—精神風土の違い
- ・選書の考え方
- ・図書館と出版の関係性—出版物の性質による違い
- ・種々の交流イベントについて
- ・出版界の最盛期とは

7. 長年、図書館・図書館学・図書館情報学関連の出版活動に携わって感じてきたこと

- ・司書養成課程、司書講習について
- ・現場とアカデミズムについて
- ・図書館職員支援の企画
- ・図書館関連書籍の生態系をつくる—読者の組織化
- ・情報リテラシーのとらえ方
- ・文部科学省の姿勢

8. 図書館現場の方々との交流を通じて考えたこと

- ・司書という仕事について
- ・まず、異文化交流ととらえる
- ・相互理解への努力—ていねいな議論を

9. 図書館と出版社の両者間で、これまでに議論されてきたこと（論点）の整理と私見

- ・議論の土俵づくり
- ・日本書籍出版協会が刊行した、以下 2 冊の小冊子について
『2015 年「図書館と出版」を考える：新たな協働に向けて』2016
『「公共図書館の役割と蔵書、出版文化維持のために」：2017 年 第 103 回全国図書館
大会 第 21 分科会報告集』2018

10. おわりに

- ・参加者との質疑応答、意見交換
- ・本日、「中堅職員ステップアップ研修」の話者として感じたこと